掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場

第35号
2023年9月28日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長　大友靖子

しあわせ金婚夫婦表彰式開催

表彰された皆さん

今年も福島県老人クラブ連合会・福島民報社主催、霊山町老人クラブ連合会主幹で金婚表彰式が霊山中央交流館大ホールで開催されました。

６組の方々が表彰を受けられアトラクションを夫婦仲良く楽しんでおられました。

この金婚表彰は結婚50年を迎えられた夫婦。また前回までに自己申告をしなかった金婚夫婦が対象です。

アトラクションを楽しむご夫婦

「しあわせ金婚夫婦表彰」は、夫婦ともに助け合い、力を合わせて良き家庭を築いたご夫婦の金婚を祝福し、賞状と記念のおしどり金メダル等が贈られました。

この行事は老人クラブ加入が必須条件ではありませんが、取りまとめなどの運営は老人クラブ役員が行っております。

近年、老人クラブに加入する人材が減少しており、過去の経験、趣味を発表する「霊山町文化祭」と同時開催の「シルバー作品展」での作品展示など、生きがい形成の役割も担って老人クラブが活動しています。

老人クラブでは、随時会員募集中です。

（掛田自治協議会事務局）

ラジオ体操会

今年で第８回目を迎えたラジオ体操会は、７月31日で９日間の日程を無事終了しました。

毎週日曜日の早朝から暑い中を町民の皆さん、子供さんも元気に参加して頂き、最終日には皆勤賞、参加賞、特別賞等の表彰後に記念写真を撮影し解散となりました。

７月２日には、須田伊達市長にも参加して頂き一緒に良い汗をかきました。須田伊達市長から「８年間もの間、続いているのは素晴らしい事ですね。」との言葉を頂きました。

10月には掛田の歴史を訪ねるウオーキングを予定しています。皆さんの参加をお待ちしております。

参加された須田市長とともに

（社会教育部会長　菅野正二）

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

皆さんご承知と思いますが、「横断歩道は歩行者優先」です。運転者には横断歩道手前で減速義務や停止義務があります。歩行者や他の車両に対する「思いやり・ゆずりあい」の気持ちを持って運転しましょう。横断者を妨げると違反となり、罰金の対象です。

また、秋になると日没が早くなります。夕暮時は早めのライト点灯により車の存在を早く知らせる事と、歩行者は明るい服装と反射材や懐中電灯などにより、運転者に自分の存在をアピールしてください。

特に信号機の無い横断歩道では手を上げる等の行動で事故に巻き込まれないように十分気をつけてください。

霊山町の交通事故発生状況（令和５年８月末現在）では、人身事故８件（前年比３件増）物損事故75件（前年比15件増）と増加傾向となっております。

一人一人の交通安全意識の高揚により事故防止に取り組みましょう。

（交通安全協会
掛田分会長　安達　文雄）

掛田自治協議会 事務局長 紹介

佐藤　邦宏

令和五年九月に事務局長として任命されました佐藤邦宏と申します。

ランニングと自転車と山、旅行とお酒の好きな爺さんです。

初めての掛田自治協議会の業務に至らない点も多々あると思いますが、皆さまの力をお借りして業務に取り組みたいと思いますので、よろしくお願いします。

【霊山中央交流館】図書室利用のご案内

霊山中央交流館には「図書室」と「鈴木大亮文庫」があります。

※本を借りるには「図書館利用カード」が必要です。

●図書館利用カードがある人…ひとり５冊まで。貸出期間２週間。

ない人…霊山中央交流館で作成できます。（本人・住所を確認できる書類をお持ちください）

●本を返す時は…霊山中央交流館までお持ちください。（市立図書館・各中央交流館でも貸出・返却ができます）

イベントのお知らせ

■ **霊山りんどうコーラス50周年記念コンサート**
・10月８日(日)　13時00分開場

■ **掛田の歴史を訪ねるウォーク**
・10月21日(土)　9時集合／霊山中央交流館

■ **文化祭・シルバー作品展**
・10月28日(土)　開会9時30分　芸能発表　10時15分～
・10月28日(土)・29日(日)　展示発表　９時～

■ **映画祭**
・11月18日(土)　９時30分～/13時30分～

コラム

９月１日は「防災の日」、そして９月全体は「防災月間」ですが、これは１９２３年に起こった関東大震災、（今年で１００年）や、９月は災害が多いことを意識し、「災害に備えつつ知識を深めるため」に制定されたものです。

台風や大雨といった自然災害は毎年被害があり、今年も、９月に熱帯低気圧に変わった台風13号の影響で、浜通り、いわき市全域で避難指示が発出され、線状降水帯が発生し県内各地で１２００棟の浸水が報告されています。

これからも、身近なところにも万が一の事態が起こる可能性は少なくありません。

だからこそ備え、非常用袋、食糧等のアイテムを使いこなせるように日頃から練習しておくことが大切です。

近年は猛暑・酷暑・大雨・地震・噴火など自然環境が変化していることを意識して過去の経験に頼らず身の安全を確保しましょう。

編集後記

皆様のご協力により「掛田の広場」も35号になりました。

今回は残念にもベテランの前事務局長渡辺さんが亡くなり、佐藤美喜夫さんが急遽事務局長に任命され頑張って頂いておりましたが体調を崩され、またまた佐藤邦宏さんへと引き継がれることになりました。この様な状況で事務局も不安定でしたがスタッフの皆さんの協力で頑張って頂いて35号を発行することができました。

総務企画部も徐々に元気を取り戻し、諸問題もクリアしながら地域の皆さんと一緒に霊山総合支所のご意見を伺いながら、地域の皆さんと一緒に笑顔で進もうを合言葉に「活力のある楽しいまちづくり」に努めてまいります。

皆様の参加とさらなるご協力をお願いします。

お問い合わせ先　霊山中央交流館
電話　586-1314　　FAX　586-3391
e-mail　kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp

“39”サンキューと感謝を込めた太鼓まつり

8月19日、20日の両日、第39回霊山太鼓まつりが、保原総合グランドで開催されました。第一回霊山太鼓まつりはりょうぜんこどもの村を舞台に開催・誕生しました。こどもの村が改修工事に入った年は霊山中学校グランドで．また「掛田の中でまつりをしたい」との要望に応え、りんどう通りをメイン会場に開催の年もありました。

震災コロナを乗り越えて伊達市を代表するまつりとして認められるよう渡辺健一実行委員長をはじめとする実行委員会が一年をかけて準備をし進めてきました。

「第39回だから『サンキュー』ということで第1回目から今まで関わって下さったすべての皆さん、先人達に感謝しよう。今年まつりができる喜びに感謝しよう。」を、合言葉に久しぶりの二日間開催となりました。

13台のキッチンカーに伊達市社交飲食業組合から7組のブース、5つの姉妹都市から各地自慢の物品販売、その他に6つのワークショップと多くの協力を頂きました1日目は音楽祭、いわき、栃木、二本松から多種に渡る5つのグループの音楽を楽しむことができました。

2日目は「本祭り」同時打ちもありスカイブルーの広い空の下、熱い、暑いまつりとなりました。夕方には雷と夕立、準備していたプログラムができなかった場面もありましたが本祭りでは久しぶりにマスクをはずし、思いっきり太鼓を打ち、会場全体の打ち手も観客も皆、笑顔でがんばった楽しい一日となりました。閉会後は全員で会場の片づけや見まわりをしましたが落ちているゴミは少なく参加して下さった皆さんのマナーの良さに感心しました。

来年は40回という記念のまつり。心に残る太鼓まつりにしていきたいものです。

（霊山太鼓まつり実行委員会）

茶臼山整備 やれることから始めよう

掛田の街のシンボル茶臼山が荒廃しており、昔のような賑わいが見られなくなっております。

この為、掛田自治協議会が中心となって、財産区、霊山ライオンズクラブと一緒に再生に向けた取り組みを今年3月から開始しております。

「さくらまつり」に向け住民参加の登山道草刈やライオンズクラブの整備事業、夏にも皆さんのご協力でお盆前の早朝に登山道草刈を行いました。

案内板（写真）をこれからも順次設置して訪れた方々により多くの情報提供と所在地を明確にする事で、大好きな茶臼山を楽しんで頂けるように活動を続けて参ります。

これからも皆さんのご支援、ご協力をお願いいたします。

（茶臼山懇談会）

草刈奉仕作業中▼

敬老会開催

四年ぶりに掛田婦人会主催の「敬老会」が霊山中央交流館にて開催されました。

八十八歳を迎えられた十六名の中から七名が出席されました。また、一般（七十五歳以上）の方六十二名が集まりました。

来賓の方々からお祝いのメッセージを頂き、米寿表彰者・出席者を代表して八島利幸さんから御礼の挨拶がありました。

アトラクションでは伊達すりかみ芸能協会の江川典夫さんの愉快なハーモニカ演奏やスコップ三味線、盆踊りなど楽しい時間を過ごすことが出来ました。

また、「婦人会」からお菓子や紅白饅頭「うまか亭」から寿司折のプレゼントもありました。

（掛田婦人会会長　八島良子）

◆7月のはつらつ教室◆

講師に掛田町在住の斎藤直之先生をお迎えして「絵手紙」教室を開催しました。斎藤先生は日本画彩心会会員で各種展覧会にて多くの賞を受賞され、霊山町文化団体会長も勤められました。現在も霊山町文化団体「日本画教室」の講師を始め、福島市、梁川町でも指導されています。

斎藤先生より、葉書大のモデル画に筆の使い方、彩色の仕方等の説明があり、まず練習に取り組んでみました。本物の胡瓜・天心桃等の野菜と、季節の花々の写生に取り組んだ方もおられました。先生からは「手紙を出す相手を想像しながら写生すると良い」とアドバイスを頂きました。それぞれ出来上がった絵手紙を並べて生徒間で鑑賞し合い楽しく終了しました。

（健康福祉部会長　八島　利幸）

先生の筆が入ると、増々イイネ!!

子ども食堂だより

福島の民話を楽しむ来場者

地域の交流の場 子ども食堂おいでよ！

八月の子ども食堂は食事の提供に加えて掛田自治協議会から福島の民話ＤＶＤ上映と子供たちに駄菓子のプレゼントがありました。

友達と遊びに来てくれた小学生が、笑顔で食事をして嬉しそうな姿に微笑ましくなりました。毎回親子で来てくれる常連さんや一人暮らしの高齢の方など多世帯が集まる子ども食堂は地域の交流の場となってきています。

これからも皆様のお越しをお待ちしています。

【今後の予定】

令和５年

10月21日㈯、11月25日㈯、12月23日㈯

午前11時半～無くなり次第終了となります。

☆場所　霊山中央交流館

☆ごはん代　大人 300 円、

子ども（高校生まで 100 円）

未就学児　無料

りょうぜんマルシェ実行委員会

子ども食堂おいでよ

佐々木和子

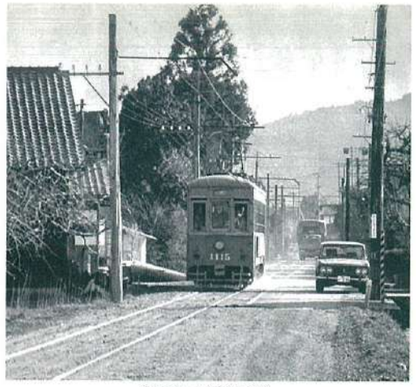
◆「路面電車を偲ぶ会」との懇談会◆

7月6日霊山中央交流館において、「路面電車を偲ぶ会」代表の安斎武さんと、掛田自治協議会との懇談会が行われました。偲ぶ会はかつての福島駅と掛田駅間を走っていた路面電車いわゆるチンチン電車を語り継ごうと活動しています。

路面電車を偲ぶ会では、毎年福島市の「コラッセふくしま」で、写真展を開催しています。その中で現在の福島交通「掛田驛」内に、路面電車ミュージアムができました。

参加者はあらためてチンチン電車が走り、地域を発展させ、現在のこの地域があることを認識しました。今後も語り継いでいきたいとの思いを持ちました。

（地域づくり部会長　八島　豊吉）



（福島交通提供）

活動の様子を話す代表の安斎さん